

平成31年度(2019)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業計画

目 次

平成 31 年度 (2019) 事業計画	P1
I 公益目的事業	P2
1. 芸術文化振興事業	P2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	P2
(2) 出雲芸術アカデミー事業	P4
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	P6
2. 博物館事業	P7
(1) 展示事業	P7
① 出雲文化伝承館 ② 平田本陣記念館	
(2) 出雲和文化交流会事業	P11
(3) 郷土資料調査活用事業	P11
(4) 呈茶事業	P11
(5) 文化財保存公開事業	P11
(6) 共催事業	P11
3. 貸館事業	P12
(1) 出雲市民会館	P12
(2) ビッグハート出雲	P12
(3) 平田文化館	P12
(4) 大社文化プレイスうらら館	P13
(5) 出雲文化伝承館	P13
(6) 平田本陣記念館	P14
(7) 管理施設の概要	P14
II 収益事業	P16
1. 貸館事業	P16
(1) 出雲市民会館	P16
(2) ビッグハート出雲	P16
(3) 平田文化館	P16
(4) 大社文化プレイスうらら館	P16
(5) 出雲文化伝承館	P16
(6) 平田本陣記念館	P16
2. チケット販売等物販事業	P16
3. 大社図書館管理運営事業	P17

平成 31 年度(2019)事業計画

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成 25 年度に公益法人となり平成 31 年度新法人移行後 7 年目を迎えました。

本年度も芸術文化振興事業、博物館事業のほか、指定管理施設として

- ・大ホールの耐震改修が完了した出雲市民会館、開館 25 周年の平田文化館、開館 20 周年のビッグハート出雲、同じく開館 20 周年の大社文化プレイスうらら館のホール系 4 施設、
- ・伝統的な日本家屋、日本庭園など日本文化を感じられる施設として人気が高まっている出雲文化伝承館、平田本陣記念館の展示系 2 施設

計 6 施設の貸館・管理運営事業など公益事業を中心に、出雲市における芸術文化振興の中核を担う公益法人として務めを果たしてまいります。

まず、芸術文化振興事業は、「音楽のまち 出雲」の推進のため、平成 30 年度から創設された「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」を引き続き活用し、

- ・神話の国出雲の風土に密着した《連作交響神楽》の第 4 弾を柱に、「出雲の春音楽祭 2020」を開催、

鑑賞事業では、

- ・二年振りの開催となる「松竹大歌舞伎」公演
- ・音楽の分野では、世界で活躍する日本人女性ヴァイオリニスト「五嶋みどり」や金管五重奏団「カナディアン・ブラス」のコンサート

など、伝統芸能の魅力を伝える公演やハイレベルの音楽芸術をお届けするほか、次世代鑑賞者の育成事業等多様な事業に取り組みます。

出雲芸術アカデミーについては、講座運営や、アウトリーチ活動、演奏会などを通して芸術文化を学ぶ機会を提供しつつ次世代の芸術文化の担い手育成に努めます。

また、博物館事業では、出雲文化伝承館と平田本陣記念館両館合わせて 11 回の展覧会を開催し、伝承館では、「奇々怪々！おぼけ浮世絵展」、「出雲の偉人たち」展や、本陣記念館では、少年ケニヤで著名な「山川惣治展」、マイメロディ♡キキ&ララ☆展など幅広い分野の優品を紹介します。

芸術文化振興事業（総合芸術文化祭）及び博物館事業（展示事業）などソフト事業については、市の施設の指定管理事業に包含されるのではなく市の単年度毎の負担金事業

となっており、今後、一層専門性を高めるとともに、スクラップアンドビルドなどにより真に必要な事業を見極め、安定した事業運営と責任ある経営を目指します。

次に、貸館事業については、出雲市から平成32年度まで6施設の指定管理者の指定を受けており、各館の特色を十分に活かし、館の連携と総合力で利用者の要望に的確にお応えし、適切な管理運営を行います。

I 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

公益目的事業の中心となる芸術文化振興事業は、所管する施設の特色を活かしながら鑑賞機会の充実・拡大、芸術文化活動の促進など芸術文化を通じた幅広い取組による普及・推進を図ります。

事業実施に当たっては、文化庁の劇場・音楽堂等機能強化推進事業を活用して、自主事業である「出雲の春音楽祭」、「出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」等公演事業の充実を図ります。

また、出雲芸術アカデミーは、文化庁の同補助事業も活用して、安定的な運営に努め、充実した講座内容による人材養成事業及びアートマネジメント研修、出前講座(アウトリーチ活動)による普及啓発事業を積極的に展開します。

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

鑑賞事業は、「本物志向」の観点から多彩で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

次世代鑑賞者育成事業では、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、鑑賞能力の向上を目指した公演として、オペラシアターこんにやく座によるエネルギッシュな日本語オペラ「口はロボットの口」をお楽しみいただきます。古典芸能事業では、伝統芸能の魅力を伝える公演として、二年振りの開催となる「松竹大歌舞伎」において、松本白鸚、幸四郎親子による襲名披露を華やかに開催します。また、音楽の分野では、世界で活躍する日本人女性ヴァイオリニスト「五嶋みどり」や50年のキャリアを誇る金管五重奏団「カナディアン・ブラス」を海外から招へいし、ハイレベルの音楽芸術をお届けします。

更に、鑑賞事業の幅を広げることを目的に他団体との共催事業にも積極的に取り組み、演芸を楽しむ会との共催事業として「桂吉弥落語会」、プロモーターとの共催事業として「沢田研二コンサート」を行う考えです。また、NHK全国放送公開番組「上

方演芸会」を実施します。

自主事業である、「出雲の春音楽祭」では、平成 28 年度に始動した委嘱作品《連作交響神樂》の更なる充実を図るため、連作の一つのポイントとなる《間奏曲》に取り組む等、管弦楽の魅力溢れる演奏会をお届けします。

一方、地元住民等を中心とする実行委員会による自主事業については、継続的な取組の蓄積を生かしつつ、点検や評価によりさらなる事業効果が発揮されるよう促します。あわせて、市内文化団体、地域文化活動との連携、協働により優れた芸術文化活動の担い手の育成、芸術文化を通じた地域活性化を図ります。

こうした事業の実施に当たっては、多様なメディアによるタイムリーな情報を発信し、市民の関心を高め参加を促します。事業後には市民アンケート等により把握した多様な意見、ニーズを踏まえ事業評価者による評価を行い、次年度以降の事業へ反映させていきます。

〈第 25 回出雲総合芸術文化祭事業実施計画〉

事業区分	公演等事業名	会場	開催月日(予定)
鑑賞事業	第 28 回出雲阿国歌舞伎「松竹大歌舞伎」	市民会館	4 月 18 日(木)
	こんにやく座「口はロボットの口」	うらら館	7 月 20 日(土) or 21 日(日)
	「五嶋みどり」コンサート	うらら館	10 月 5 日(土)
	「カナディアン・ブラス」コンサート	市民会館	1 月 25 日(土)
	NHK 全国放送公開番組「上方演芸会」	平田文化館	3 月 13 日(金)
	沢田研二コンサート(共催)	市民会館	9 月 23 日(月・祝)
	桂吉弥独演会(共催)	うらら館	調整中
自主事業	将棋フェスティバル	弥生の森	7 月 21 日(日) or 28 日(日)
	出雲囲碁フェスティバル	うらら館	8 月 3 日(土)
	アートマネジメント人材育成事業	調整中	調整中
	いずも音楽コンクール	ビッグハート	11 月 16(土)、17 日(日)
	いずも新春コンサート	ビッグハート	1 月 5 日(日)
	出雲の春音楽祭 2020	市民会館	3 月 1 日(日) or 8 日(日)
	サウンドフェスタ大心路(共催)	ビッグハート	9 月 1 日(日)
	出雲神在月市民芸術文化の祭典(共催)	うらら館	10 月 20 日(日)

(2) 出雲芸術アカデミー事業

開設から15年目を迎える出雲芸術アカデミーは、所期の目的とする芸術文化に触れ、学ぶ機会の提供、創造性、感性豊かな青少年の育成、指導者の育成及び市民の芸術文化活動への参加促進の達成に向けて、より充実した内容で事業運営に取り組みます。

音楽院では、幼児から高齢者までを対象に、器楽・声楽の講座を継続して実施し、成果発表の場として演奏会を開催します。

また、音楽研究院では、講師の技術研鑽に努めるとともに、市内の幼稚園・保育所、小中学校、病院、福祉施設等へのアウトリーチ活動を充実させ、合唱や楽器の体験、生演奏の鑑賞、演奏指導など音楽の普及、啓発技術の向上を図ります。そしてアウトリーチ事業の集大成として平成30年度から始めた「夢いっぱい♪春まちコンサート」において、鑑賞者の育成や劇場の活性化にもつなげてゆきます。

出雲フィルハーモニー交響楽団第23回定期演奏会は、「グレートジャパン・グレートブリテン」をテーマに、邦人作曲家による日本初の管弦楽曲をはじめ、イギリスの作曲家・ブリテンによる「青少年のための管弦楽入門」、シューベルトの交響曲「ザ・グレイト」を取り上げ、子どもから大人まで、オーケストラコンサートの入門として幅広い世代で鑑賞いただける魅力あふれる演奏を提供します。

出雲 Jr. フィルについては、第7回プロムナードコンサートの他、北九州ジュニアオーケストラとの交流演奏会を予定しています。活動の幅を広げることを目的として行っているこの県外公演は、平成29年度に実施した東広島市のジュニアオーケストラとの交流演奏会に続くもので、現在、相手先である公益財団法人北九州芸術文化振興財団と各種調整を行っています。

〈講座運営〉

科	コース（講座・対象）	定員
幼児科(通年)	音楽入門コース(ポップ、ステップ、ジャンプ 3歳児、4～5歳児及びその保護者、6歳児)	90名
本科(通年)	音楽入門コース（音楽入門 小学1年生～3年生）	25名
	合唱コース（ジュニアコーラス 小学4年～高校2年生）	40名
	オーケストラコース（入門、オーケストラ 小学生～高校2年生）	125名
別科(通年)	合唱コース（コーラス・レパートリー 18歳以上）	70名
	オーケストラコース（オーケストラ・レパートリー 18歳以上）	60名
	オペラコース（アクティング・クワイア 18歳以上）	25名
	邦楽コース（邦楽合奏 18歳以上）	20名

〈演奏会等事業〉

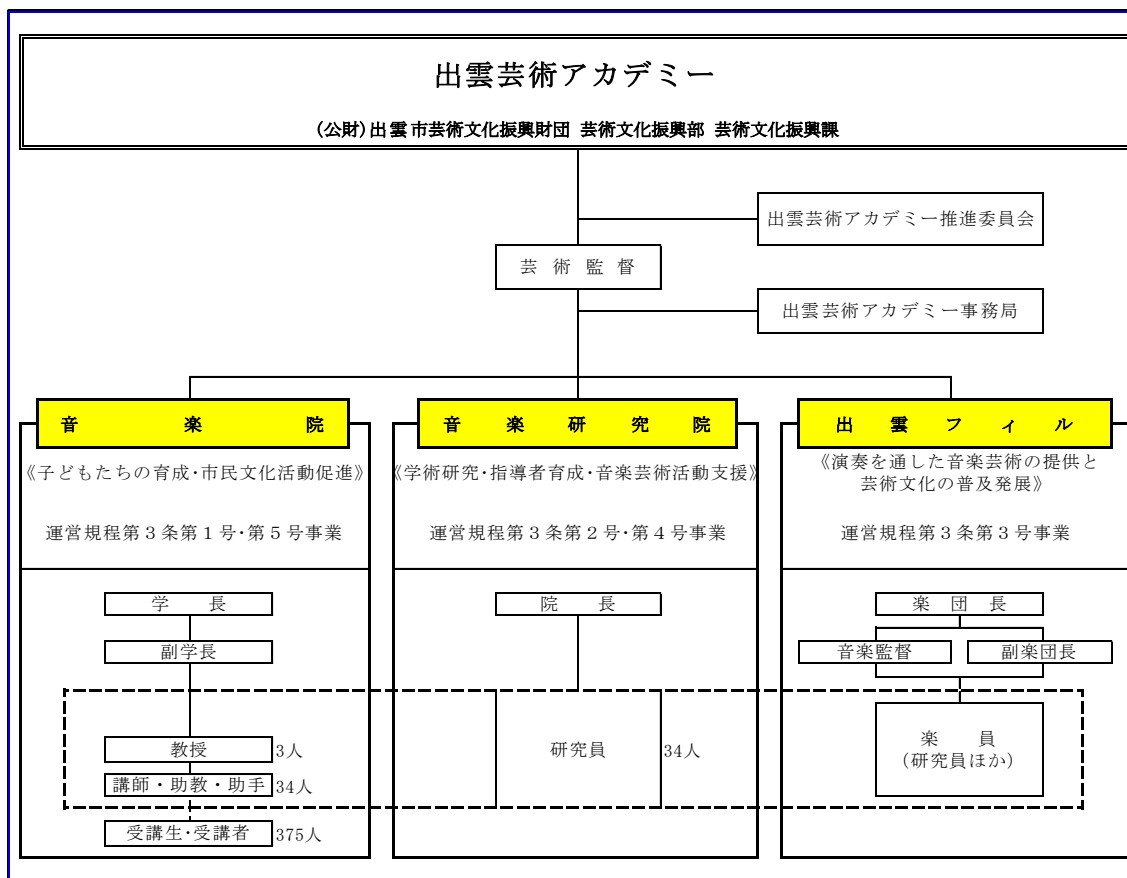
公演等事業名	会場	開催月日（予定）
第14回ファミリーコンサート	うらら館	4月21日（日）
出雲フィルハーモニー交響楽団 第23回定期演奏会 〔出雲芸術アカデミー・オーケストラ・セミナー2019〕	市民会館	7月15日（月・祝） 〔7月13日（土）～〕
出雲 Jr. フィル第7回プロムナードコンサート	うらら館	11月10日（日）
うたなかまこんさーと2020	うらら館	1月26日（日）
夢いっぱい♪春まちコンサート	平田文化館	2月24日 （月・祝）
北九州ジュニアオーケストラとの交流演奏会	北九州芸術劇場	3月29日（日）

・アウトリーチ活動

市内の幼稚園・保育所、小中学校、病院、福祉施設等20か所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、生演奏や楽器体験、演奏指導などを行います。子どもたちの音楽芸術への興味関心を引き出し、創造性と感性を高め、人間性豊かな人材育成につなげるとともに、病院、福祉施設等においては、音楽による心身の活性化と情緒安定の効果への期待に応えるなど、出雲芸術アカデミーの裾野拡大に寄与します。

・指導者育成支援事業

音楽研究院にて学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行います。



(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局事務を担います。

* 《出雲メセナ協会について》

- ・ 設立：出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に平成10年に設立。(会員数228名(H30.12末))
- ・ 主な活動：会員の会費を原資とした出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援等。(芸術・文化活動財政支援事業、芸術家派遣事業、メセナ協会だより発行等)

* 平成23年度に出雲市から事務局を引き継ぐ。

2 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、「出雲市芸術文化振興指針（第2次 2021年度まで）」及び国の「文化芸術基本法」（平成29年6月改正）、文化芸術推進基本計画（平成30年3月閣議決定）等を踏まえながら、出雲地方や日本の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を一体的に実施し、わが国と出雲文化の魅力を紹介するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる事業展開に取り組めます。また、出雲和文化まつりなど市民参加型の事業を企画し、郷土や暮らしの中で大切にされている伝統文化や芸術文化に触れる機会を提供するほか、子どもや大人対象の教室、講座、講演会等を通して芸術文化の多面的な振興に努め、地域の芸術文化を推進するプラットフォームとなるよう努めます。あわせて、事業について広くホームページやフェイスブックなどで紹介し、出雲の文化力を広く発信します。また収入増をはかるため、補助金の獲得や協賛広告を募るなど財源確保に努めます。

(1) 展示事業

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、出雲地方をはじめとするわが国の豊かな歴史や芸術文化の継承・発展を目指し、人的、文化財的な資産を活用した展示を行います。2019年度は展示事業として両館で11回の展覧会を開催します。出雲文化伝承館では「朝鮮陶磁と東南アジアの“やきもの”」展、「奇々怪々！おばけ浮世絵展」や一般財団法人出雲市文化協会創立70周年を記念した共催展「出雲の偉人たち」展を開催します。

平田本陣記念館では、少年ケニヤで著名な「山川惣治展」、美術家として活躍中の「城戸真亜子展」、ベストセラーにもなっている「羽賀翔一原画展」などを開催し、子どもから大人まで楽しめる幅広い内容と地元志向の芸術文化に触れていただきます。

また、2館同時開催の「アートになった猫たち」展を開催します。本年度も展覧会にあわせ講演会、ギャラリートーク及びワークショップなどを企画して多面的に展覧会の内容を深めます。

①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
朝鮮陶磁と東南アジアの“やきもの”	4月2日（火）～ 5月12日（日） 《公開 38 日》 （平成 30 年度からの 継続事業）	朝鮮陶磁と東南アジアの焼物は、古くからわが国に舶来し、唐物や鳴物、また南蛮などと称され賞玩されてきました。本展では、19 世紀までの朝鮮半島の高麗青磁、朝鮮時代の陶磁器や近年注目されているタイ、ベトナム、ビルマ（現 ミャンマー）、カンボジアなどを中心とする東南アジアの焼物を紹介して、文化交流の歴史を振り返ります。
出雲の洋画展	6月1日（土）～ 7月7日（日） 《公開 32 日》	出雲市では現在でも多くの洋画家が活躍していますが、ここには戦後からの郷土の指導者たちの努力がありました。とくに近年の日展では特選作家を続けて輩出するなど、注目されています。本展では館蔵品を中心に、明治時代から現在までの出雲ゆかりの洋画家たちを紹介します。
奇々怪々！ おばけ浮世絵展	7月20日（土）～ 9月1日（日） 《公開 39 日》	夏につきものの“おばけ”や“妖怪”は庶民の間で様々に語り継がれてきました。幕末には鶴屋南北や曲亭馬琴らの物語からブームとなり、浮世絵師たちは“おばけ”を独特のイメージで表現しました。本展ではおばけや妖怪、怨霊、幽霊をはじめ、これらを退治するヒーローなどを浮世絵と肉筆画を中心に紹介します。怖くもあり、また剽軽な“おばけ”の世界をお楽しみいただきます。
出雲文化協会創立 70 周年記念 出雲の偉人たち	10月12日（土）～ 11月24日（日） 《公開 40 日》	出雲市にはこれまで多くの政治家、実業家人、文化人、宗教家たちなどが様々な分野で活躍してきました。本展では後世にその功績をのこしたい郷土の先人たちの足跡を、関連の数々の資料により紹介します。出雲市文化協会との共催事業。

<p>出雲文化伝承館・平田本陣記念館 同時開催 アートになった猫たち 展 -今も昔もねこが好き-</p>	<p>12月11日(水)～ 2月2日(日) 《公開 43 日間》</p>	<p>猫は古くから私たちの暮らしに寄り添ってきた動物で、物語や絵画に多く登場します。江戸時代にも猫ブームがあり、浮世絵に多くとりあげられました。幕末明治期の浮世絵師や大正の抒情画家などが個性的な猫を描いています。本展では喜怒哀楽を表現した“猫百態”による「人と猫の 200 年」を、明治、近現代の作品を中心にアートを通してお楽しみいただきます。</p>
<p>早春展 出雲の茶陶展</p>	<p>3月20日(祝・金) ～3月31日(火) 《公開 10 日》 (5月中旬までの継続事業)</p>	<p>江戸時代から明治時代までの楽山焼、布志名焼の茶碗、水指などの優品を一堂に紹介します。会期中には恒例の早春の茶会を開催します。</p>

②平田本陣記念館

<p>山川惣治展 — 生誕 110 年記念・ 「少年王者」「少年ケニヤ」の絵物語作家 —</p>	<p>4月1日(月)～ 6月9日(日) 《公開 60 日間》 (平成 30 年度からの継続事業)</p>	<p>劇画の母体となった絵物語というジャンルを創作した山川惣治は、昭和 20～30 年代を中心に活躍し、絶大な人気を誇り、また敗戦後の疲弊した日本人に希望を与え、立ち直る勇気をもたらしました。本展では戦後の大衆文化を担い、後世に多大な影響を与えた作家の業績と作品を紹介します。</p>
<p>マイメロディ♡キキ&ラ ラ☆展 — 世界的人気キャラクターの誕生と人気の秘密 —</p>	<p>6月21日(金)～ 9月1日(日) 《公開 63 日間》</p>	<p>「マイメロディ」は世界的に多くのファンから愛され続け、「リトルツインスターズ」(キキ&ララ)の2人はいつも仲良しで、見るものすべてを優しい気持ちにさせてくれます。この2つのキャラクターは 1975 年に誕生しました。本展では初代担当デザイナーが描いた作品や、また歴代のデザイナーたちが手掛けたイラスト原画や懐かしいグッズなどを紹介します。</p>

<p>城戸真亜子展 —ゆれるひかり—</p>	<p>9月14日(土)～ 11月10日(日) 《公開 50 日間》</p>	<p>‘80年代、化粧品会社のモデルとしてデビューし、女優司会等で活躍した城戸真亜子氏は、武蔵野美術大学油絵学科卒業。VOCA展、女流画家展に入選の他、都市のパブリックアートを多数手掛けるなどアーティストとして広く知られています。透明感のある特有の色彩、柔らかな筆致で対象をただならぬ美しさに変貌させる油彩作品は、常に観るものを魅了し続けます。このたび島根で初めての個展を開催します。</p>
<p>出雲文化伝承館・平田本陣記念館 同時開催 アートになった猫たち展 —今も昔もねこが好き—</p>	<p>12月11日(水)～ 2月2日(日) 《公開 42 日間》</p>	<p>猫は古くから私たちの暮らしに寄り添ってきた動物で、物語や絵画に多く登場します。江戸時代にも猫ブームがあり、浮世絵に多くとりあげられました。幕末明治期の浮世絵師や大正の抒情画家などが個性的な猫を描いています。本展では喜怒哀楽を表現した“猫百態”による「人と猫の200年」を、江戸時代の作品と日本画を中心にアートを通してお楽しみいただきます。</p>
<p>羽賀翔一展 —「インチキ君」から「漫画 君たちはどう生きるか」まで—</p>	<p>2月29日(土)～ 3月30日(月) 《公開 27 日間》 (5月までの継続事業)</p>	<p>吉野源三郎の名作「君たちはどう生きるか」は、人間としてあるべき姿を求め続けるコペル君とおじさんの物語で、1937年に出版されて以来、数多くの人に読み継がれてきました。この歴史的名著を初めてマンガ化した羽賀翔一氏の本は現在200万部を超える大ベストセラーとなりました。本展では、「漫画 君たちはどう生きるか」の原画をはじめ、羽賀さんのデビュー作「インチキ君」から現在の作品まで紹介します。</p>

(2) 出雲和文化交流会事業

市内の伝統文化関係団体の協力を得て、出雲和文化交流会との共催で11月に17回目の「出雲和文化まつり」を出雲文化伝承館で開催します。(茶会、いけ花展示、邦楽邦舞等)

(3) 郷土資料調査活用事業

出雲文化伝承館、平田本陣記念館が寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い、今後の展示事業への活用を図るため調査、研究、整理を行います。

平成27年度から平田本陣記念館蔵の木佐家文書を整理しており、また他の旧家等の古文書についても調査活用を行います。

(4) 呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、お抹茶を味わっていただきます。あわせて、茶道各流派の茶会及び学校児童等による茶道催し等に連携支援し貸出します。

(5) 文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と活用を図り、出雲流庭園、独楽庵及び松籟亭と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、くつろぎの中で伝統建築を理解していただきます。

また、平田本陣記念館では、県内では稀に残る御成り屋敷と、米国の日本庭園専門誌においても評価された庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに平田本陣記念館では、市内小学校児童が来館した際に引き続き民具の解説等を行います。あわせて両館では市民所蔵の美術品等の保存活用等について、専門的な支援を行います。

(6) 共催事業

①出雲文化伝承館 第28回 早春の茶会 3月末予定

3.貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体による上質な演劇・演奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し芸術文化の振興を図ります。

施設の貸出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく掌握し、利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸出しに努めます。

また、各施設建設後の年数が経過しており、建物、設備、備品いずれも保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適切に行うなど維持管理が特に重要となってきています。

(1)出雲市民会館

出雲市内のメインホールとして、1,210席の大ホール、大小会議室、展示室、多目的室など地域の文化センターとして多くの観客が入場でき、催し物・会議・展示会など利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(自主事業)

大ホールの更なる有効活用と来場者の増加を図るため、自主事業への取り組みを推進することとし、まず第1歩として、コンサートの共催事業などに取り組みます。

(2)ビッグハート出雲

JR駅、一畑電鉄駅に近接した利便性の良さと市民参加型の催しに適した規模のホールなどを始め、多彩な施設を擁していることから、今後も芸術文化活動だけでなく、学会、研究会、打ち合わせ会などの会議などにもご利用いただけるよう努めます。

(自主事業)

立地と施設の多様性を活かして、多くの市民に楽しんでいただけるよう自主事業に取り組みます。

(3)平田文化館

プラタナスホール（大ホール）は、電動移動観覧席により406席から813席まで自由な座席設定が可能で、講演会やコンサートにご利用いただけます。また、座席を収納すればフラットなスペースとなり、展示会やパーティー、軽運動など多様な催しに幅広くご利用いただいています。そのほか小ホール、会議室、和室、応接室を備えており、地域の文化活動の拠点として施設の特徴を活かし、また利用者のご要望に応え、有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(4)大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール及び200人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、利用者の皆様のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう取り組みます。また、大社図書館との複合施設という特徴を活かし、地域の文化拠点として親しみをもって使っていただけるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら業務を推進します。

(5)出雲文化伝承館

出雲屋敷、茶室「松籟亭」、茶室「独楽庵」、企画展示室、出雲文化工房及び縁結び交流館の貸出しについて、利用者の皆様のご要望にお応えしつつ、出雲文化の伝承・継承を図る目的に沿い適切に対応することとし、多様で特色ある施設を有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(自主事業)

出雲文化伝承館の特徴を生かして、伝統文化の普及・継承を目的に、子ども及び一般対象の教室、文化講座等を開催します。

《各種教室・講座》

① こども教室

ふだん触れることの少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に体験教室を開催します。

ア. こども和文化クラブ（通年）

茶道教室、いけばな教室、箏教室、日本舞踊教室（各月2回、5月～）

イ. 夏休み等こども教室

水彩画教室、やきもの教室、和菓子づくり・お抹茶体験教室、いけばな教室、親子しめ縄づくり教室など

ウ. 幼稚園訪問ミニ鑑賞会

日舞・箏のミニ観賞会

② 一般対象文化講座

絵画教室、「出雲流庭園」講座、大人のためのお抹茶のいただき方教室、掛け軸の取扱い方教室、陶芸教室、文化講座（能）など

《多様な施設の活用》

出雲文化伝承館は、市指定文化財の「出雲屋敷」、博物館機能を有する「企画展示室」、茶席体験ができる茶室「松籟亭」、不昧公ゆかりの茶室「独楽庵」、出雲そばの「そば処」、多目的ホールの「縁結び交流館」、陶芸やそば打ち体験などができる「文化工房」など多様な施設を有しています。これらの多様な施設を生かして、

文化芸術の保存・継承、交流、発信の拠点のみならず、地域の生涯学習、国際交流活動、ボランティア活動や観光の拠点などとして、行政や関係団体等と連携のもと幅広く施設の有効活用に努めます。

(6) 平田本陣記念館

出雲の歴史と文化に包まれた特色あるこの施設の本館、展示館、茶室(悠々庵)の公開と貸出しについては、利用者のご要望に即して有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(呈茶事業)【再掲】

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、米国の日本庭園専門誌でも評価された庭園を鑑賞しながら、お抹茶を味わっていただきます。

(自主事業)

伝統文化の普及と継承を目的に引き続き子ども・親子教室、一般対象の教室などを開催します。

《各種教室・講座》

① こども・親子教室

夏休み・冬休みを中心に書道、茶道及びいけばななど日本の文化、工芸を体験する教室を開催し、礼儀作法、行儀作法などをご指導いただきます。

(書道教室、カレー皿絵付け教室、親子茶道教室、親子生け花教室など)

② 文化講座 (一般対象)

日本の文化を体験する教室や出雲ならではの方言講座などを開催し、その理解や普及を図ります。

(掛け軸の取扱い方教室、茶道教室、出雲弁講座など)

(7) 管理施設の概要

管理施設名	主な施設	利用案内
出雲市民会館 (塩冶有原町 2 丁目 15) TEL 24-1212	大ホール(1,210席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243㎡)	各種作品等の展示ほか
	多目的室(82㎡)	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修用

ビッグハート出雲 (駅南町 1 丁目 5) TEL 20-2888	白のホール (341 席)	コンサート、演劇、学会、講演会、研修会、
	白のホール控室 (54.34 m ²)	各種教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	アートギャラリー (263.78 m ²)	作品展示ほか
	黒のスタジオ (139.48 m ²)	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	茶のスタジオ (122.47 m ²)	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	レセプション (91.2 m ²)	会議、研修会、レセプションほか
	会議室 (3 室)	会議、面接、研修会ほか
	練習室 (25.21 m ²)	個人練習、バンドの練習、レッスン、ワークショップほか
	文化サロン (183.50 m ²)	市民、各種団体のミーティング、作業、相互交流の場
平田文化館 (平田町 2112 - 1) TEL 63-5030	プラタナスホール (406 席 ～813 席、572.2 m ²)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、 作品展、展示会場、パーティー会場、軽運動場
	小ホール (110 席、144 m ²)	講演会、会議、研修会、講習会、控室 (楽屋)、 絵画作品展
	会議室 (2 室)	会議、研修会、講習会、控室 (楽屋)
	和室 (2 室)	会議、研修会、控室 (楽屋) 等
	応接室	小会議、控室 (楽屋) 等
大社文化プレイス うらら館 (大社町 杵築南 1338 - 9) TEL 53-6500	だんだんホール (600 席)	コンサート、演劇等各種公演、伝統芸能、式 典、講演会、音楽練習ほか
	ごえんホール (200 席)	講演会、研修会、作品展示、コンサート、音 楽練習ほか
	会議室 (3 室)	会議、研修会ほか
出雲文化伝承館 (浜町 520) TEL 21-2460	出雲屋敷 (356.6 m ²)	見学、茶会、結婚披露宴前撮りほか
	茶室「松籟亭」 (150.82 m ²)	呈茶、茶会、香会
	茶室「独楽庵」 (33.15 m ²)	茶会、香会

	文化工房 (438 m ²)	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m ²)	企画展、特別展等
	縁結び交流館 (503 m ²)	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダンス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515) Tel 62-5090	本館	生け花展、茶会、地域イベントほか
	展示館	美術品等展示
	茶室	茶事ほか

II 収益事業

次の(1)から(6)までの施設の貸出しにおいては、営利を目的とするホールの施設や物販等の利用のための貸出しを収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めます。

1. 貸館事業

(1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

(2) ビッグハート出雲

ホール、控室、アートギャラリー、スタジオ、レセプション、会議室、練習室、文化サロン

(3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室

(4) 大社文化プレイスうらら館

ホール、楽屋、テラス、会議室

(5) 出雲文化伝承館

展示室、茶室、指定文化財庭園等、多目的ホール

(6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

(1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2) 企画展等において、受託販売物や図録等の販売を行います。

3. 大社図書館管理運営事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である大社図書館の清掃、空調整備、修繕、消防点検及び警備等の管理運営を適正かつ効率的に行います。